



一般社団法人 電波産業会  
Association of Radio  
Industries and Businesses

No.1038 2016年8月15日

ARIBからのお知らせ

ARIB・TTC 共催セミナー開催のお知らせ  
「IoT 標準化最新動向 - oneM2M 技術仕様リリース 2 の全貌 -」

oneM2Mは、平成24年7月にARIB/TTCを含むICTに関する世界の主要な7標準化団体が発足させた共同プロジェクトであり、これまで多様なM2M (Machine to Machine) アプリケーションをサポートする共通のサービスレイヤの標準化を行ってきました。

平成28年7月18日～7月22日に開催された第24回技術総会 (TP24) において、oneM2Mリリース2 仕様が承認されました。

oneM2Mにより提供される共通サービス機能を用いることにより、多様なデバイスからの情報収集や当該デバイスの制御が容易となり、新たなM2Mサービスが短期間・低コストで実現できるようになることが期待されています。

今回のセミナーでは、oneM2Mリリース2仕様について、策定の経緯、位置付け、今後のスケジュール等をご紹介しますとともに、仕様書群の構成及び主な仕様書に関する解説を行います。M2Mに関係する多くの関係者、業界の方々のご参加をお待ちしております。

記

1. 主催 一般社団法人電波産業会 (ARIB) 一般社団法人情報通信技術委員会 (TTC)
2. 日時 平成28年9月9日 (金) 13:30 から 17:45 まで
3. 場所 一般社団法人電波産業会 会議室 (日土地ビル 11 階)  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-1 日土地ビル 11 階  
<http://www.arib.or.jp/syokai/map/index.html>
4. 対象 一般
5. 参加者 150 名程度 (定員になり次第締め切らせて頂きます。)
6. 申込先 参加には事前登録が必要です。  
下記より申し込みをお願いします。  
<http://www.arib.or.jp/osirase/oshirasree/osirase20160808.pdf>
7. 費用 無料
8. 問合せ先 TTC 住田 (sumita [あっと ttc.or.jp](mailto:sumita@ttc.or.jp))  
ARIB 中村 (k-nakamura [あっと arib.or.jp](mailto:k-nakamura@arib.or.jp)) ([あっと](mailto:k-nakamura@arib.or.jp)を@に変換下さい)

9. プログラム (8/9 現在暫定版：調整中)

時間	講演内容	講演者
13:30～13:35	開会の挨拶	日本電信電話株式会社 山崎 育生 氏 TTC oneM2M 専門委員会 副委員長
13:35～13:55	oneM2M リリース 2 の概要と関連動向の概観  8月30日に承認されたばかりのリリース 2 仕様の概観とプロダクトの試験や認証等の動向を概説します	KDDI 株式会社 山崎 徳和 氏 oneM2M 技術総会 (TP) 副議長 TTC oneM2M 専門委員会 委員長
13:55～14:15	AllJoyn/OIC とのインターワーク  デバイスプラットフォーム連携	クアルコム・ジャパン株式会社 内田 信行 氏 ARIB oneM2M 対応 WG 副主査 oneM2M TS-0004 ラポータ
14:15～14:35	OMA LWM2M/3GPP とのインターワーク モバイルネットワーク連携	日本電気株式会社 内田 訓雄 氏 (講師調整中)
14:35～14:55	セマンティクス プラットフォーム間データ連携	日本電気株式会社 山田 徹 氏
14:55～15:25	通信プロトコルの改訂 WebSocket バインディング、データ管理機能の強化、およびセキュリティ	富士通株式会社 藤本 真吾 氏 oneM2M プロトコル WG 副議長
15:25～15:35	休憩	
15:35～15:45	個人情報保護 PPM (Privacy Policy Manager) の利用	株式会社 KDDI 研究所 奥井 宣広 氏
15:45～16:05	住宅分野への適用と共通デバイス管理モデル	日本電信電話株式会社 伊藤 可久 氏
16:05～16:35	oneM2M の事業活用への取り組み： 産業分野と自動車分野  リリース 2 に向けて議論が収束した産業分野への活用方針、及び現在議論中の自動車分野への活用方針についてご紹介します	株式会社日立製作所 木下 泰三 氏/久保 広行 氏
16:35～16:50	Application Developer Guide  アプリ開発者向けに技術仕様を平易に紹介	株式会社 NTT ドコモ 井原 武 氏 ARIB oneM2M 対応 WG 主査
16:50～17:05	相互接続性試験 相互接続試験の手順を決めた仕様 (TS-0013) の概要と、過去のテストイベントの状況をご紹介します	日本電信電話株式会社 前大道 浩之 氏 (講師調整中)
17:05～17:20	Certification の動向 現在検討中の Certification の仕組み、組織、課題と、他国での対応状況を紹介します	アンリツ株式会社 山下 治 氏
17:20～17:35	リリース 3 の動向とショーケース イベントのご紹介	KDDI 株式会社 山崎 徳和 氏 (講師調整中)
17:35～17:45	質疑応答	
17:45	閉会	

## 第 143 回 電波利用懇話会（電波環境協議会共催）開催のお知らせ（再掲） 「医療機関において安心・安全に電波を利用するための手引き」

7月19日のNo.1034号で既にお知らせしておりますが、改めてのご案内です。

今回の電波利用懇話会では、昨年9月に設置された「医療機関における電波利用推進部会」がまとめた手引書の内容を中心に解説いたします。

電波産業会並びに電波環境協議会の会員の皆様には、是非ともご参加下さいますよう、重ねてご案内申し上げます。

### 記

- 1 日 時：平成28年8月25日（木）14時から15時30分まで
- 2 場 所：一般社団法人電波産業会 会議室  
東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
- 3 題 名：「医療機関において安心・安全に電波を利用するための手引き」
- 4 講 師：電波環境協議会「医療機関における電波利用推進部会」座長 加納 隆様  
(埼玉医科大学 教授)
- 5 対 象：ARIB正会員、賛助会員及び電波環境協議会会員
- 6 参 加 者：90名程度（定員になり次第締め切らせていただきます。）
- 7 申 込 先：当会ホームページ (<http://www.arib.or.jp/>) の「講演会等開催案内」まで
- 8 参 加 費：無料
- 9 問 合 せ 先：企画国際部 電波利用懇話会事務局 辻道 まで  
TEL: 03-5510-8592 E-mail: arib-seminar2016@arib.or.jp

### ARIBの動き

## 第 15 回日中韓情報通信標準化会議の概要 (The 15<sup>th</sup> CJK IT Standards Meeting)

情報通信分野の一層の発展に向けて、日中韓三カ国の情報通信標準化機関（SDO）の相互協力をより積極的に推進することを目的として、2002年に「日中韓情報通信標準化会議（CJK IT Standards Meeting）」が設立されました。

その第15回会合（CJK-15）が、CCSA\*のホストにより2016年8月2日から4日まで、日中韓の4SDO（ARIB、CCSA\*、TTA\*及びTTC\*）から総勢約80名（ARIBからは佐藤参与を団長に13名）が参加し、中国・西寧（青海省）で開催されました。

今会合では、第15回全体会合のほか、第46回IMT（International Mobile Telecommunication）WG、第12回WPT（Wireless Power Transmission/Transfer）WGなどのWG会合が並行して開催されました。

全体会合である Plenary Meeting では、各 WG からの報告と共に、本会議を今後より小規模で効率的に運営していく方法が提案・議論された他、共同提案の手順についても合意されました。

IMT WG では、最近の ITU-R SG5 WP5D 第 24 回会合および APG19\*-1 会合の結果についての情報共有の後、WP5D 第 25 回会合（10 月 5 日～13 日）に向けた意見交換を行い、周波数分配、周波数共用検討のための IMT モデリング、性能評価基準、技術的要件等についての検討方針が合意されました。

WPT WG では、ITU-R SG1 の結果や各 SDO の活動についての情報共有と共に、AWG\*-20（9 月 6 日～9 日）に向けた共同提案方針、今後に向けた協議事項が議論されました。また WPT WG の議長について、CCSA の Wang 氏から ARIB から参加の庄木氏（東芝）への引き継ぎが決まり、今後 1 年間議長を務められます。

次回の日中韓情報通信標準化会議（CJK-16）は 2017 年 8 月末に、済州島（Jeju Island）で開催することが、ホストとなる TTA より提案されました。

\*CCSA: China Communications Standards Association 中国通信標準化協会（中国）

\*TTA: Telecommunications Technology Association 電気通信技術協会（韓国）

\*TTC: The Telecommunications Technology Committee 情報通信技術委員会（日本）

\*APG19: APT Conference Preparatory Group for WRC-19

\*AWG: APT Wireless Group アジア・太平洋電気通信共同体（APT）無線グループ



CJK-15 全体会合の様子



CJK-15 会合参加者



IMT WG の様子

### 今後の ARIB 内会合（8 月 15 日～8 月 26 日）

- |             |                 |
|-------------|-----------------|
| 8 月 18 日（木） | スタジオ設備開発部会      |
| 8 月 24 日（水） | 技術委員会           |
| 8 月 24 日（水） | 無線 LAN システム開発部会 |
| 8 月 25 日（木） | 電波利用懇話会         |

### 今後の国際会合（8 月 15 日～8 月 26 日）

参加を予定している会合は、ありません。

電波法施行規則第7条第5号の規定に基づく特定実験試験局として  
使用可能な周波数の範囲等を定める件の一部を改正する告示案についての  
意見募集

【平成28年8月5日 発表】

総務省では、2020年の第5世代移動通信システム（5G）実現に向けた研究開発等の取組を加速させるため、電波法施行規則（昭和25年電波監理委員会規則第14号）第7条第5号の規定に基づき公示されている特定実験試験局の周波数に5Gでの利用が想定されている周波数帯を追加することとし、告示の改正案を作成しました。

本改正案について、平成28年8月6日（土）から平成28年9月9日（金）までの間、意見を募集を行っています。

詳細については、[【平成28年8月5日 総務省報道資料】](#)をご覧ください。

編集後記

6月21日からARIBで業務させていただいており、ARIB NEWSの編集は本号が初めての担当になります、熊谷です。今後とも、どうぞ宜しくお願い申し上げます。講演会、懇話会に事務局として参加させていただく機会が多いのですが、ワイヤレスの広がり大きさ、社会へ与える影響の大きさを、改めて実感します。

次週8月22日はARIB NEWSの発行はお休みで、次回は8月29日になります。近年は日中の気温が体温と同じくらいになることも珍しくなく、気象情報では夜間も冷房の利用を勧めたりするようになってしまいました。皆様、体調には十分ご留意の上、猛暑を乗り切っていただきたいと願っております。



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS  
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階  
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103  
<http://www.arib.or.jp> E-mail [arib\\_news@arib.or.jp](mailto:arib_news@arib.or.jp)